

# 平成29年度 事業計画書

公益財団法人 柏崎原子力広報センター

## 平成29年度 事業計画

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

世界最大規模の原子力発電所が立地する地域として、広く県民一般に原子力発電、放射線利用など原子力の平和利用に関する知識の普及啓発を行い、もって地域社会の安全と安心に寄与することを目的とする。(定款から)

- 1 原子力の平和利用に関する知識の普及啓発
- 2 原子力に関する情報の収集及び公開
- 3 原子力防災に関する研修及び育成
- 4 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 【 事業項目 】

#### 1 原子力発電に関する広報事業

予 算：20,765,000円 (平成28年度：22,342,000円)

##### (1) 原子力講座(出前講座)・研修

- ・目 的： 原子力に関する正しい知識の普及啓蒙
- ・内 容： 「放射線の基礎知識」、「原子力防災の基礎」等
- ・対 象： 県内の一般住民
- ・回 数： 10回(管内7回、管外3回)(平成28年度：10回)
- ・期 間： 5月～12月
- ・開催形式： 集会所等に出向いての講座開催

##### (2) 放射線教育研修会

- ・目 的： 学習指導要領の改正により小中学校の理科教師を対象に、教育現場に役立てもらうための放射線知識に関する研修
- ・対 象： 県内の小中学校理科担当教師(教育委員会、教育センターと連携)
- ・回 数： 4回(管内2回、管外2回)(20人/回)  
(平成28年度：5回)
- ・期 間： 4月～6月
- ・研 修： 放射線教育の推進に役立つ基礎研修講座
- ・会 場： 柏崎原子力広報センター、県内の教育センター等

### (3) 次世代対象事業

- ・目的：次世代（小・中学生）を対象に、原子力や放射線の知識の習得と共にエネルギーについて考える場の提供

#### ① 「青少年のための科学の祭典」参加

- ・主催：柏崎市教育委員会、教育センター
- ・対象：次世代層・親子
- ・回数：2回（平成28年度：2回）
- ・期日：春・秋の開催
- ・会場：新潟工科大学構内
- ・内容：キャッチコピー「身近な自然放射線」  
簡易放射線測定器を用いての自然放射線計測の体験

#### ② エネルギー・環境セミナー

- ・対象：小学生・中学生
- ・内容：小中学校での放射線やエネルギー授業
- ・回数：15回（30人／回）（平成28年度計画：15回）
- ・期日：5月～12月

### (4) 展示事業

- ・目的：当センターの展示設備等の利用促進と施設の維持管理
- ・内容：センター展示設備：  
アトミューひろば、ライブラリー、アトミューラボ等  
施設の保守点検  
電気、空調、自動ドア、エレベーター等  
館内清掃
- ・期日：4月～3月

### (5) ホームページによる情報公開、発信

- ・内容：講座、研修等についての定期的な情報発信  
（日常更新は広報センターで実施）

### (6) 原子力広報啓発資料の作成と配布

- ・内容：放射線に関する知識の普及啓発のためのメモ帳等の作成

### (7) 原子力関係情報収集

- ・内容：職員研修・調査、資料収集と整理  
原子力広報機関連絡会や原子力関連セミナー等への参加

## 2 「柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会」運営事業

予 算：7,227,000円（平成28年度：7,846,000円）

- ・内 容： 定例会12回、運営委員会12回、情報誌「視点」発行6回、柏崎刈羽原子力発電所の視察

## 3 原子力防災に関する研修及び育成

予 算：3,460,000円（平成28年度：3,041,000円）

### (1) 新潟県事業

- ・内 容： 消防団員や自治体職員を対象とした原子力防災研修
- ・回 数： 4回（上・中・下越で開催）（平成28年度：3回）
- ・予 算： 1,038,000円（平成28年度：668,000円）

### (2) 柏崎市事業

- ・内 容： 「原子力地域防災リーダー研修」運営業務 8回  
（平成28年度：8回）
- ・予 算： 1,585,000円（平成28年度：1,585,000円）

### (3) 刈羽村事業

- ・内 容： 「原子力地域防災リーダー研修」運営業務 6回  
（平成28年度：6回）
- ・予 算： 837,000円（平成28年度：788,000円）

## 4 法人会計

- ・内 容： 評議員会、理事会、監査運営等経費
- ・予 算： 445,000円（平成28年度：417,000円）